

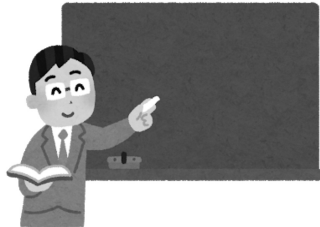


(発行)
熊本市教育委員会事務局
学校教育部 総合支援課
学校サポート班
(文責)
指導主事 田中 慎一郎
tanaka.shinichiro@city.kumamoto.lg.jp

熊本市教育センターホームページからもバックナンバーを見ることが出来ます。(〃)〃



個人情報



先月29日の西日本新聞に「黒板似顔絵 個人情報か」という記事がありました。卒業式の日、学級担任が、生徒一人ひとりの個性を愛情込めて黒板に表現したそうです。当日未明まで2日間かけて仕上げた黒板。卒業生の一人が、それをツイッターに「いい先生に出会えた」と投稿したのです。あっと言う間に、共感を得て12万人以上が「いいね」と反応します。しかし、写真は数日後、削除されます。

理由は、保護者数人からの苦情でした。似顔絵にそこまで…という意見

もある一方で、個人が特定されたり、何らかのトラブルに巻き込まれないか親として心配という意見もあったそうです。似顔絵が個人情報に当たるかどうかは別の議論として、投稿によって投稿主以外の人に不利益が生じる場合があるということは忘れてはいけません。

投稿する側は、善意であったり、ちょっとした気持ちかもしれませんが、その投稿が周囲を巻き込む可能性があるかどうかを考えなければなりません。例えば、入学式のクラス発表。名簿の写真をよくスマホで撮影する光景を目にします。撮影された写真が、インターネット上に出回ることも多々あります。これでは、学

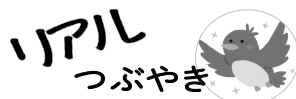
校がどんなにクラス名簿を個人情報として管理したとしても、どのクラスに誰がいるかわかってしまいます。そういった意味では、SNS時代になり誰でも、他人の情報をボタン一つで流出できるようになったのです。

どこまでが個人情報？

例えば、学校行事。写真を撮る機会が多くあると思います。写真は後で見ることで、その時の気持ちを思い返すこともできます。当然いろんな場面を残しておきたいですね。しかし、一つ気を付けなければならないのは、関係のない人が写り込むことです。

「写りこんだ写真まで

も、個人情報びなるのか！」そういった声も聞こえてきそうです。ここで大切なのは、どこまでが個人情報という考えではなくて、その行為によって誰かが傷つかないようにするという視点です。似顔絵も偶然写りこんだ写真も同じ。それらを不特定多数が閲覧できるインターネット上に投稿した結果、投稿した人以外の人が嫌な思いをするかもしれないということです。個人情報の流出を防ぐ方法は、周りへの優しさなのかもしれません。人に優しいインターネット社会を目指したいですね。



最近バスに乗る機会が増えました。バスの座席は、小さい頃から、タイヤの上のみんなより一段高いところが好きな田中です。空いているといつもそこに座ってしまいます！（笑）だって見晴らしが良いのです。私は市電もバスも通勤で使えますが、そういった理由から最近バスが多いのです！ということで今朝もバス。

あれ？待てども待てども来ない。定刻を過ぎて、目の前を市電が通過します。イライラ(〃-〃) こんなときのために今バスがどこを走っているのか知らせる「バスきたくまさん」というサービスがあるそうです。なるほど、イライラもネットのおかげで解消できるのかな？とスマホを操作しようとした瞬間！バスが到着！！すると、「遅れて、大変申し訳ありませんでした！！！」とスピーカーを通した大きな声。バスのドアが開く前から運転手さんが叫んでます。そんなに謝らなくても（涙）イライラした私の心の小ささに気づかされるじゃないですか（汗）いくら、バスの居場所をGPSでつかんで、それをネットで見えるようにしても遅れるときは遅れるものです。そういった機能の不足を補うものは、やっぱり人の態度や心だっさりするんですね。バスが遅れたおかげで、いろんなことに気づかされた朝でした。